

**JSP**

2020年3月期

# 決算説明

2020年5月22日

株式会社JSP

1

## 経営方針

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

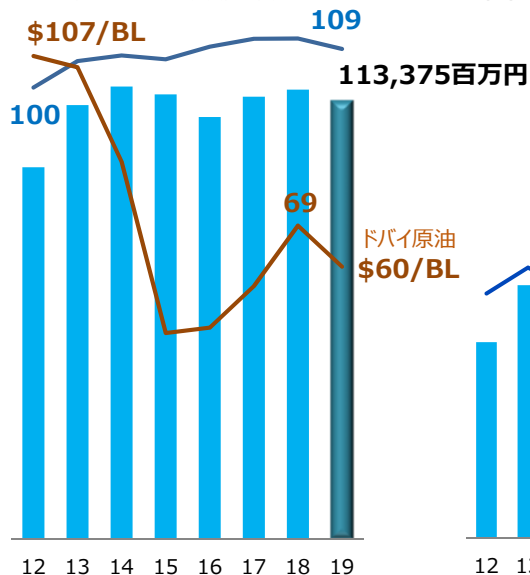
*Deliver with*  
**Wow!**

**JSP**

1. 2020年3月期決算概要（2019年度）
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
3. 2020年3月期決算補足（2019年度補足）
4. 新型コロナウイルス感染症の影響

## Growth

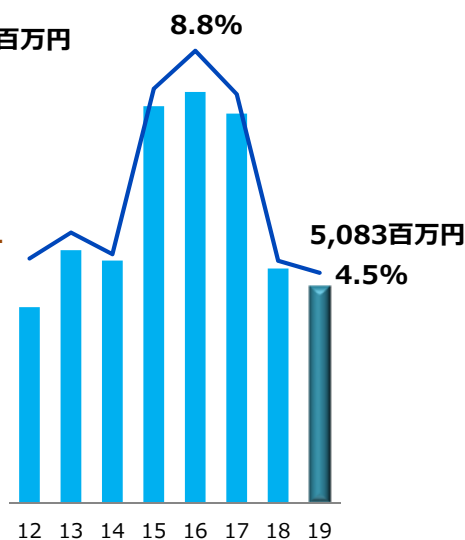
売上高・販売数量



販売数量 2012年=100

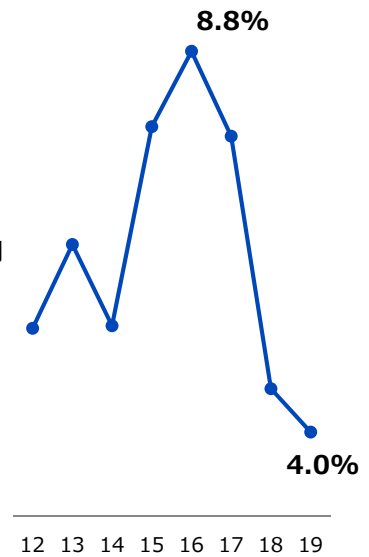
## Margin

営業利益・営業利益率



## Return

総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 業績予想 (2020/1/31)	2019年度 実績	前年比	公表比
売上高	116,133	112,200	<b>113,375</b>	△2.4%	1.0%
営業利益	5,479	4,800	<b>5,083</b>	△7.2%	5.9%
経常利益	5,835	5,000	<b>5,210</b>	△10.7%	4.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,309	3,800	<b>3,638</b>	△15.6%	△4.3%

●為替：109.2円/\$ 122.2円/€ 15.8円/元(2018年度 110.4円/\$ 130.0円/€ 16.6円/元)

●原油価格：\$60.3/バレル (2018年度 \$69.4/バレル) ※ドバイ原油価格

●経済状況：米国/米中貿易摩擦や大手自動車メーカーのストライキによる自動車生産の下押し

欧州/雇用環境の改善が継続、製造業の低迷などにより減速傾向

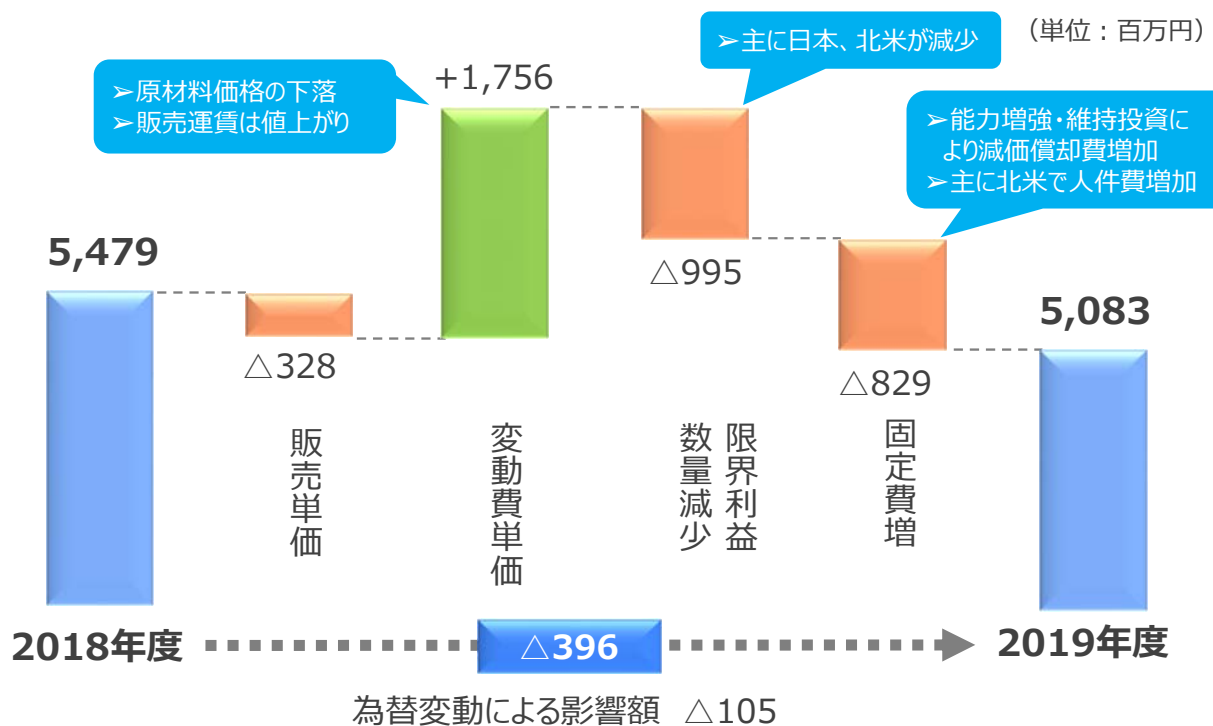
アジア/米中貿易摩擦の影響などで経済成長は鈍化

日本/雇用環境改善による個人消費の持ち直し、一方で外需は減速

●連結業績

売上高：自動車市場などの市況悪化、一部分野の需要低迷

営業利益：需要低迷の影響や新規需要へ向けた生産体制構築に伴う固定費増加



6

## 押出事業

2019年度

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前年比
売上高	41,388	39,795	△3.8%
営業利益	2,468	2,293	△7.1%

市況悪化や販売減少により売上減、固定費増で減益

### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」  
「ミラボード」

- 食品トレー向け分野や販売広告宣伝用ディスプレイ材の販売減少により売上は減少

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャブロン」  
「Pボード」

- 汎用製品の販売減少
- 付加価値の高い製品の中国及び韓国向け販売の減少などにより売上は減少

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

- 建築分野向けの割付断裁品や土木分野向けの販売が好調で売上は増加

JSP

7

## ビーズ事業

2019年度

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前年比
売上高	68,449	67,771	△1.0%
営業利益	3,782	3,783	+0.0%

製品価格改定などにより売上減、固定費増・コスト削減等で利益は前年並み

### 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名 (ARPRO)  
「エレンボールNEO」



- 販売数量は前年並み
- 日本：自動車部品販売は堅調
- 北米：大手自動車メーカーのストライキなどにより低調
- 欧州：経済減速の影響により前年並み
- アジア：種々の用途拡大等により販売数量増加

### 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」  
「ヒートボールGR」  
「クリアボール」  
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」機能製品は販売増加、農業・水産分野は減少で、売上減少
- 「スーパーブロー」需要増加などにより売上増加

JSP

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前年比
売上高	6,295	<b>5,808</b>	△7.7%
営業利益	156	<b>103</b>	△34.2%

国内は売上減、中国は各種部品関連の需要獲得で売上増

#### 国内一般包材

- 自動車部品輸送関連等の販売減少



自動車部品トレイ



光学部品緩衝材

#### 中国一般包材

- 新規需要獲得で売上増



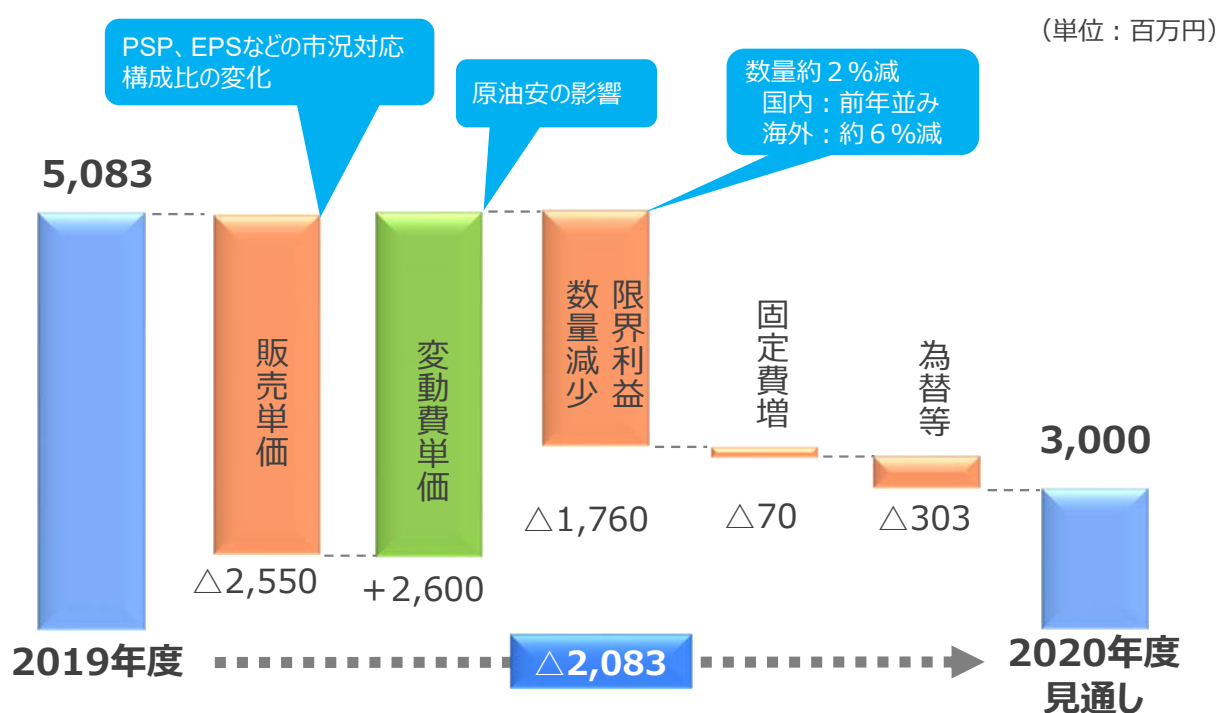
I T家電緩衝材



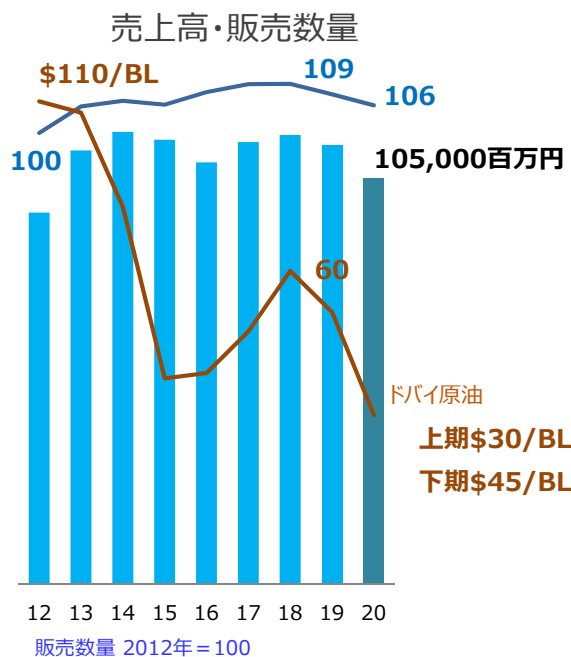
1. 2020年3月期決算概要（2019年度）
2. **2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）**
3. 2020年3月期決算補足（2019年度補足）
4. 新型コロナウイルス感染症の影響

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	前年比
売上高	113,375	105,000	△7.4%
営業利益	5,083	3,000	△41.0%
経常利益	5,210	3,200	△38.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,638	2,200	△39.5%

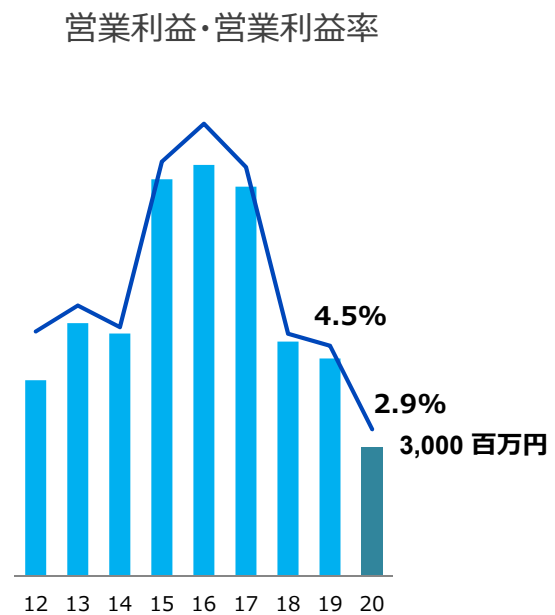
- 為替：105円/\$、120円/€、15.0円/元（2019年 109.2円/\$、122.2円/€、15.8円/元）
- 原油価格：上期\$30/バレル、下期\$45/バレル（2019年 \$60.3/バレル）※ドバイ原油価格
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））
- 前提条件：① 上期は新型コロナウイルス感染症の影響を受けること、下期は回復軌道に乗る前提とする  
② 工場の稼働は継続可能であり、原材料等の供給も問題ないとする  
③ 販売数量は、個別の事業特性や足元の状況等を踏まえ推定



## Growth



## Margin



項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	前年比
売上高	39,795	38,300	△5.9%
営業利益	2,293	1,600	△30.2%

## 市況悪化と製品価格改定で売上減、数量減の影響が大きく利益減

## 食品包材・容器



「耐熱PSP」 「ミラボード」

- 外食から中食・内食へのシフトで需要増、コンビニ需要は低迷
- ディスプレイ資材は、展示会等のイベント中止で需要減

## 産業用包装材

「ミラマット」  
「キャブロン」  
「Pボード」

- 差異化製品による新市場・新用途開拓を進める
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、需要減

## 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」 「Jウォールブロック」

- 住宅資材等の納入遅延などによる工期延長や住宅取得マインドの低下により断熱材需要は低迷と予測
- 土木資材は堅調に推移すると予測



# 14 ビーズ事業

2020年度見通し  
JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	前年比
売上高	67,771	61,100	△11.1%
営業利益	3,783	2,530	△33.1%

経済活動の停滞と製品価格改定で売上減、数量減の影響が大きく利益減

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



「ピーブロック」 「エレンポールNEO」 「ARGILIX」

- 中国：Q1は売上大幅減、Q2は回復傾向
- 欧米：Q1は堅調に推移、Q2は売上大幅減
- 台湾：コロナウイルスの影響少なく堅調に推移すると予測

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品

「スチロディア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」



- インバウンド需要の減少があるものの堅調に推移すると予測
- 改良グレードの市場導入により増販

JSP

# 15 セグメント別見通し・設備投資・減価償却

2020年度見通し  
JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2019年度実績		2020年度見通し		前年度差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
押出事業	39,795	2,293	38,300	1,600	△1,495	△693
ビーズ事業	67,771	3,783	61,100	2,530	△6,671	△1,253
その他	5,808	103	5,600	0	△208	△103
調整額	---	△1,096	---	△1,130	---	△34
合計	113,375	5,083	105,000	3,000	△8,375	△2,083

- 設備投資額 7,200百万円  
(増産・競争力強化500百万円、維持6,700百万円)
- 減価償却費 6,500百万円  
(2019年度比 73百万円増加)

JSP



1. 2020年3月期決算概要（2019年度）
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
- 3. 2020年3月期決算補足（2019年度補足）**
4. 新型コロナウイルス感染症の影響

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2019年度	113,375 (△2.4%)	5,083 (△7.2%)	5,210 (△10.7%)	3,638 (△15.6%)
2018年度	116,133 (+1.6%)	5,479 (△39.8%)	5,835 (△36.7%)	4,309 (△37.1%)

包括利益：2019年度 2,097百万円 2018年度 1,711百万円

年度	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2019年度	122円07銭	4.5%	4.0%	4.5%
2018年度	144円57銭	5.4%	4.6%	4.7%

## 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2018年度	2019年度
受取利息	209	212
その他	486	355
営業外収益合計	695	568
支払利息	148	201
為替差損	95	134
その他	95	105
営業外費用合計	340	441

## 特別損益

科目 (単位：百万円)	2018年度	2019年度
固定資産売却益	29	13
投資有価証券売却益	411	32
特別利益合計	440	45
固定資産除却損	143	50
減損損失※	---	381
その他	84	11
特別損失合計	228	444

※ 北米の電子線架橋発泡ポリエチレンシート事業の計画等の見直しにより、関連する固定資産の一部について減損処理を実施

年度 (単位：百万円)	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2019年度末	128,445	84,646	63.4%	2,729円87銭
2018年度末	129,229	84,141	62.1%	2,691円76銭

(参考) 自己資本  
2019年度末 81,375百万円  
2018年度末 80,239百万円

年度 (単位：百万円)	現金及び預金	短期借入金※	長期借入金	借入金合計
2019年度末	13,466	12,176	8,642	20,818
2018年度末	14,842	11,419	7,969	19,389

※1年内返済予定の長期借入金を含む

科目 (単位：百万円)		2018年度末	2019年度末	増減額
資産の部	流動資産	66,830	<b>60,575</b>	△6,254
	固定資産	62,399	<b>67,869</b>	5,469
資産合計		129,229	<b>128,445</b>	△784
負債の部	流動負債	34,344	<b>31,611</b>	△2,732
	固定負債	10,744	<b>12,186</b>	1,442
	負債合計	45,088	<b>43,798</b>	△1,289
純資産の部	株主資本	81,553	<b>83,665</b>	2,112
	その他包括利益累計額	△1,313	<b>△2,290</b>	△976
	非支配株主持分	3,901	<b>3,270</b>	△631
	純資産合計	84,141	<b>84,646</b>	504
負債純資産合計		129,229	<b>128,445</b>	△784

科目 (単位：百万円)		2018年度末	2019年度末	増減額
株主資本	資本金	10,128	<b>10,128</b>	—
	資本剰余金	13,441	<b>13,405</b>	△35
	利益剰余金	59,370	<b>61,518</b>	2,148
	自己株式	△1,386	<b>△1,387</b>	△0
	合計	81,553	<b>83,665</b>	2,112
その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	233	<b>268</b>	35
	為替換算調整勘定	△2,505	<b>△3,255</b>	△749
	退職給付に係る調整累計額	958	<b>696</b>	△261
	合計	△1,313	<b>△2,290</b>	△976
非支配株主持分		3,901	<b>3,270</b>	△631
純資産合計		84,141	<b>84,646</b>	504

### キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2019年度	11,484	△12,406	△358	7,584
2018年度	7,391	△10,368	1,708	9,082

### 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2019年度	12,200	6,427	2,312
2018年度	10,896	5,601	2,155

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2020年3月期決算概要 (2019年度)
2. 2021年3月期決算見通し (2020年度見通し)
3. 2020年3月期決算補足 (2019年度補足)
4. **新型コロナウイルス感染症の影響**

24

## 2020年度販売数量予測（国内）

COVID-19の影響

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

前年同期比 ○：95%以上 ▲75~95% ■ 75%以下

事業	主な製品	2020年度見通し			
		Q1	Q2	Q3	Q4
食品包材	スチレンペーパー	○	○	○	○
ディスプレイ資材	ミラボード	■	■	○	○
産業資材	ミラマット	▲	▲	○	○
建築資材	ミラフォーム	▲	▲	○	○
土木資材	Jウォールブロック	○	○	○	○
高機能材	ピーブロック	▲	▲	○	○
EPS	スチロダイア	○	○	○	○

JSP

25

## 2020年度販売数量予測（海外）

COVID-19の影響

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

前年同期比 ○：95%以上 ▲75~95% ■ 75%以下

地域	主な製品	2020年度見通し			
		Q1	Q2	Q3	Q4
北米	ピーブロック	○	■	○	○
南米	ピーブロック	○	■	▲	▲
欧州	ピーブロック	○	■	○	○
シンガポール	ピーブロック	○	■	○	○
中国	ピーブロック	■	▲	○	○
韓国	ピーブロック	■	▲	○	○
台湾	ピーブロック	○	○	○	▲

JSP

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、  
実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室